

令和2年度第12回神戸市教育委員会会議の結果

※政策形成過程を公表する趣旨から、非公開とした会議項目のうち、会議後に方針等が公表されたものは、議論の過程の一部についても記載しています。

協議事項 14 教職員の多忙化対策について

総合教育会議（令和2年9月9日開催）において教育委員会事務局から学校園に発出された通知文書が半年間で約3,700件にのぼることが報告されたことを受け行われた、3名の企画調整局調査官による調査の結果について報告があった。

調査結果では、通知の発信件数の多さに加え、通知内容の区分や添付ファイル・要約の不備等が問題点として挙げられており、今後は事務局内での問題意識と発出時のルールの共有を行い、改善状況の確認をしていくとの説明があった。

教育長・教育委員からは、学校にとって大切な子どもと向き合う時間の確保のために早急に対応すること、学校現場とも意見交換しながら取り組んでいくことが大切等の意見があった。

協議事項 26 市立学校園における新型コロナウイルス感染症対策等について

市立小学校における新型コロナウイルス感染症のクラスターへの対応等について報告があり、今後の対策等について協議した。

教育長・教育委員からは、感染者が発生した学校に対し引き続き教育委員会が支援する必要がある、インフルエンザの流行も懸念されることから、今後に向けた抵抗力を高めるための取組も周知することが大切である等の意見があった。

協議事項 29 熱中症対策等について

市立中学校における熱中症による救急搬送事案における感染症対策アドバイザーによる検証結果について報告があった。

発生要因として記録的猛暑のほか、長期臨時休業による体力の低下やマスクの着用等の新型コロナウイルスによる影響、そして警報による休校で休みが連続したこと等が挙げられ、例年と異なる状況が重なったことが要因であるとの説明があった。

教育長・教育委員からは、次年度の運動会・体育大会の開催時期の見直しについて教育委員会として方向性を打ち出していく必要があること、誰もが見て分かるように暑さ指数計の掲示について工夫すること、また、運動会・体育大会だけでなく他の行事に対しても熱中症への注意喚起をすることが必要である等の意見があった。